

凡例 日日時 期間 場所 内容 対象 講師 費用 定員 持ち物 申し込み 提出先 その他 問い合わせ 休館日

※特に記載のない場合、申込時間は平日の午前9時から午後5時まで。入館料等詳細は各施設まで。

文化施設

安曇野高橋節郎記念美術館

TEL 81・3030 FAX 82・0551

企画展 小口正二と高橋節郎

「うつるしのいろと彩」

色彩表現に焦点をあて、漆芸術の分野で活躍した、諏訪出身の小口正二と安曇野出身の高橋節郎の作品を紹介する展覧会です。

日 7月7日(土)～9月9日(日)
※8月14日(火)は午後9時まで夜間延長・午後5時から入場無料

休月曜日(祝日の場合は開館)、祝日の翌日

※7月6日(金)は臨時休館・8月13日(月)は臨時開館



小口正二《夏の語らい》1982年 諏訪市美術館蔵

《企画展記念コンサート》

企画展を記念して、開催初日に美術館主屋でコーラスと二胡のコンサートを開催します。

日 7月7日(土) 午後3時～4時
場美術館主屋

出演者 第一部 安曇野混声合唱団
第二部 野田裕子さん(二胡)
曲目 穂高の四季、シルクロードほか

費無料(企画展の観覧料は有料)
うつるしdeマイはし作り

名誉市民で漆芸術家の高橋節郎の技法を体験する講座です。色漆と金粉を用いて漆塗りの箸を飾ります。

日 7月21日(土)・22日(日)
午前9時30分～午後3時30分
※両日も同じ内容です

場美術館主屋
費1500円

講東京藝術大学漆芸研究室
定各日15人(先着順)

持作業のできる服装、昼食
申 6月26日(火)～7月12日(木)

に美術館へ電話で
友の会主催夏季ワークショップ

講師に教わりながら、オリジナルの作品を制作します。

①金工体験シルバーリングづくり
日 7月14日(土)

午前10時～午後5時
講松木光治さん(金工作家)

定10人(先着順)
持ハンカチ、昼食

《企画展関連講演会》

「私の終末活動」

人生の終末や死後について自分らしくありたいと「終活」を行う人は少なくありません。終末活動とそれに伴う問題点を明らかにしながら、自らの経験とともにお話しいたします。

日 7月22日(日)
午後1時30分～3時

場博物館2階学習室
講福澤昭司さん(長野県民俗の会 会員)

費無料(別途入館料)
定50人(先着順)

申不要

《企画展関連イベント》

「三途の川を渡って満願寺へ行くろう」

宗派や宗教に関わらず、盆には各地から多くの人が「魂迎え」に訪れた満願寺周辺を歩きます。

日 7月28日(土)
午前9時30分～

費300円(資料代・保険代)
定20人(先着順)

持野外を歩く服装、帽子、飲み物
申 6月30日(土)～7月26日(木)

に博物館へ電話で。詳細は申し込み時に案内します。



今から80年前の葬儀 (昭和13年 穂高・小川写真館提供)

②七宝アクセサリーづくり
日 7月28日(土)
午前10時～午後5時

講向山伊保江さん(七宝作家)
定15人(先着順) 講昼食

③革のペンスタンドづくり
日 8月5日(日)
午前10時～午後5時

講酒井昭子さん(革作家)
定10人(先着順) 講昼食

「ワークショップ共通事項」
場美術館主屋
費各講座1500円

申 6月26日(火)～7月11日(水)
に美術館へ電話で

真享義民記念館
TEL 77・7550 FAX 77・7551

写真と拓本で見る
三郷地域の文学碑

市内在住の下田忠寿さんによる、三郷地域にある文学碑23点の写真と拓本の展示を行います。

日 7月3日(火)～16日(月)
午前9時～午後5時(最終日は午後3時まで)

場記念館企画展示室
費無料(常設展は有料)

休月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)

豊科近代美術館

TEL 73・5638 FAX 73・6320

第89回展 第一美術長野展

絵画・彫刻・工芸の3部門で構成される第一美術協会による巡回展を開催します。国立新美術館で開催された本展選抜作品と、長野県内正会員・準会員・一般入選作品を展示します。

日 6月26日(火)～7月8日(日)
午前9時～午後5時(入場は午後4時30分まで。最終日は午後3時まで)

場美術館2階展示室、「きぼう」多目的ホール

休月曜日
扇子に描こうワークショップ

扇子にいろいろな画材を使って絵を描きます。完成した作品は7月の扇子展で展示します。

日 7月7日(土) 午前9時～正午
場美術館オリエンテーションルーム

定20人(先着順・親子の参加も可)
費500円

申 6月26日(火)から美術館に電話で

お詫びと訂正

●6月6日発行号(271号)9ページ。「あづみの新進音楽家コンサート」掲載内容に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

【誤】 グラスハーモニカ
【正】 グラスハーブ

●5月16日発行号(270号)17ページ。アルプスあづみの公園管理センターでは「チューリップの球根の掘り取り」日程案内に誤りがありました。深くお詫び申し上げます。

七夕饅頭&七夕人形づくり

【国営アルプスあづみの公園 (堀金・穂高地区)】

収穫に感謝し、神様にお供えする安曇野の風習を体験します。小麦粉・ナス・あんこを使ったお饅頭と、簡単な七夕人形を作ります。

日 7月7日(土) ①午前11時～ ②午後2時～ ※所要時間約1時間

場国営アルプスあづみの公園(堀金・穂高地区) あづみの学校社会科教室

費300円(入園料別途) 定各回20人

申 7月6日(金)までに国営アルプスあづみの公園堀金・穂高管理センターへ電話で。定員になり次第締め切り。

問国営アルプスあづみの公園堀金・穂高管理センター

TEL 71・5511 FAX 71・5512

再発見!安曇野の文化

TEL 72・5672 FAX 72・7772 豊科郷土博物館

堂原埋葬儀礼場跡(熊倉)

安曇野では火葬が普及する昭和50年代以前は土葬が主で、その頃は自宅で葬式を出すのが当たり前でした。葬式を出すのは大変なことでしたが、庚申講仲間などの手伝いにより、家族は死者との別れを惜しむことができました。葬式は、通夜・納棺・葬儀の後、出棺・野辺送りをして墓へ埋葬します。多くの墓地には死者に引導を渡す場所があり、熊倉には明治末～大正初めころに作られたこの儀礼場跡が残されています。ここで、家族や会葬者は埋葬前に僧の読経とともに棺の周りを三周し、死者と最後の別れをしました。

博物館では上記のとおり、企画展「どうする?葬式 どうなる?葬式」を開催します。

この機会に、自身に、自身の終末や葬式について考えてみませんか。



堂原埋葬儀礼場跡(熊倉)